

再評価時再評価結果(令和元年度)

担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 : 山名 剛

事業の概要

事業名	通常砂防事業	事業区分	通常砂防事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県三好市山城町政友	箇所名	政友谷		
事業概要	砂防堰堤2基(H=9.5m L=20.3m V=655m ³ , H=10.5m L=33.1m V=1280m ³), 溪流保全工 L=50.7m				
事業の目的・必要性	本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の避難所や保育所等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 当地区内には、保全対象として避難所である旧政友小学校、要配慮者利用施設である政友保育所があり、地域住民の人名や財産を守るため、平成27年度より通常砂防事業に着手した。				
総事業費	300 百万円		進捗率	30%	

位置図 計画概要図

政友谷通常砂防事業

流域概要図

①政友谷(全景)

②保全対象:政友保育園(要配慮者利用施設)

③溪流の荒廃状況

凡例
■ 砂防堰堤(予定)
▨ 砂防堰堤(予定)

事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用	総便益
	令和元年度	8.2	11.2	3.3億円	用地費・工事費等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象の避難所と要配慮者利用施設を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果) 避難所である旧政友小学校を保全し、地域の防災力の向上を図る。 				
ソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> 基礎調査を行い、調査結果の公表を実施している 地元説明会を行い、土砂法に基づく指定を実施している。 				
社会経済情勢等の変化	当事業では土地利用や保全対象に大きな変化は無い。 H30年7月豪雨等により土砂災害に対する防災意識が一層高まっており、当事業の実施においては土砂災害に対して家屋や避難所を保全するなど、防災面の向上に寄与している。				
事業の進捗状況	用地買収済みである。本工事発注の手続き中 現在の進捗率は事業費ベースで30%である。				
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:7.4, 事業費-10%:9.1, 工期+10%:8.2, 工期-10%:8.1, 資産+10%:9.0, 資産-10%:7.3 残事業費+10%:10.2, 残事業費-10%:12.4, 残工期+10%:11.3, 残工期-10%:11.1, 残資産+10%:12.3, 残資産-10%:10.1				
事業進捗の見込み	令和4年度の完成を目指し、事業進捗を図る。				
対応方針(案)	継続				
対応方針理由	地元からの要望も高く、保全対象も変わっていないことから総合的に判断した。				

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

継続の理由

想定される被害や社会的影響も大きく、費用対便益は8.2と事業の効果は高い。
 用地取得も完了しており、事業進捗に向けての隘路も無い。
 これらの状況を総合的に判断し、通常砂防事業を継続する。